



建築用シート防水材料のメーカー団体

**KRK** (合成高分子ルーフィング工業会) <https://www.krkroof.net/>

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9-2 日新中央ビル3F

TEL.03-6206-2928 FAX.03-6661-9034 E-mail: [krkroof@krkroof.net](mailto:krkroof@krkroof.net)



# KRK 2025

## シート防水材に関する情報誌 vol.20

合成高分子ルーフィング工業会  
<https://www.krkroof.net/>

### K R K 会 員

アーキヤマデ株式会社	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町24-10 TEL.06-6385-1265 <a href="https://www.a-yamade.co.jp/">https://www.a-yamade.co.jp/</a>
シバタ工業株式会社	〒674-0082 兵庫県明石市魚住町中尾1058 TEL.078-946-1515 <a href="https://www.sbt.co.jp/">https://www.sbt.co.jp/</a>
住ベシート防水株式会社	〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル TEL.03-5462-8960 <a href="https://www.sunloid-dn.jp/">https://www.sunloid-dn.jp/</a>
田島ルーフィング株式会社	〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX21階 TEL.03-6837-8888 <a href="https://www.tajima.jp/">https://www.tajima.jp/</a>
ニッタ化工品株式会社	〒556-0022 大阪府大阪市浪速区桜川4-4-26 TEL.06-6563-1206 <a href="https://www.nitta-roofing.com/">https://www.nitta-roofing.com/</a>
パーカーアサヒ株式会社	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-22-1 パーカーコーポビル1階 TEL.03-5614-9395 <a href="http://www.parker-asahi.co.jp/">http://www.parker-asahi.co.jp/</a>
ハセガワシート株式会社	〒276-0022 千葉県八千代市上高野1384-5 TEL.047-411-5014 <a href="https://www.sanAsheet.com">https://www.sanAsheet.com</a>
早川ゴム株式会社	〒721-8540 広島県福山市箕島町南丘5351 TEL.084-954-7801 <a href="https://www.santac.or.jp/">https://www.santac.or.jp/</a>
三ツ星ベルト株式会社	〒653-0024 兵庫県神戸市長田区浜添通4-1-21 TEL.078-685-5771 <a href="https://www.mitsuboshi.com/">https://www.mitsuboshi.com/</a>
ロンシール工業株式会社	〒105-0021 東京都港区東新橋2-3-17 モメント汐留 TEL.03-6452-8914 <a href="https://www.lonseal.co.jp/">https://www.lonseal.co.jp/</a>

### 賛 助 会 員

アキレス株式会社	03-5338-9544	日本パワーファスニング株式会社	06-6442-0059
亜細亜工業株式会社	03-3895-4041	フィッシャージャパン株式会社	072-789-9700
株式会社カネカ	03-5574-8070	株式会社ベルテック	06-6651-9194
株式会社JSP	03-6212-6362	峰岸株式会社	03-3274-1726
ソトウ株式会社	045-322-0720	株式会社山装	045-781-7821
倉敷紡績株式会社	06-6266-5279	株式会社ライスター・テクノロジーズ	045-477-3637
タキロンマテックス株式会社	03-5781-8150		



- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1 ごあいさつ      | 5 シート防水層の種類と適用部位   |
| 1 KRKの概要     | 6 公共建築工事標準仕様書      |
| 2 KRKの活動     | 7 シート防水施工事例        |
| 3 シート防水の特長   | 10 各種マニュアル最新版のお知らせ |
| 4 シート防水材の紹介  | 11 KRK会員名簿         |
| 4 シート防水工法の紹介 |                    |

KRK



# ごあいさつ

合成高分子ルーフィング工業会会長

## 常盤 昭夫

日本における防水シートは、昭和 27 年（1952 年）の旧国鉄車両屋根への採用を契機に、70 年以上にわたり進化を続けてまいりました。工業会も昭和 45 年（1970 年）の発足以来、「JASS 8 防水工事」や「公共建築工事標準仕様書」、さらには「シート防水技能検定」の制定など、多方面のご支援をいただきながら、シート防水の普及と地位向上に取り組んでおります。

現在、業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。技能士不足や建築需要の減少、働き方改革に伴う労働時間や施工条件の制約による現場生産性の低下、円安や原油価格の変動による輸入資材費の高騰、さらには国際的な地政学リスクや主要国の通商政策の変化による原材料費や輸送コストの上昇など、課題は多岐にわたります。

# KRK の概要

## KRK の歴史と実績

K R K はシート防水の品質向上と施工技術の標準化に積極的に取り組んでいます。

## 歴 史

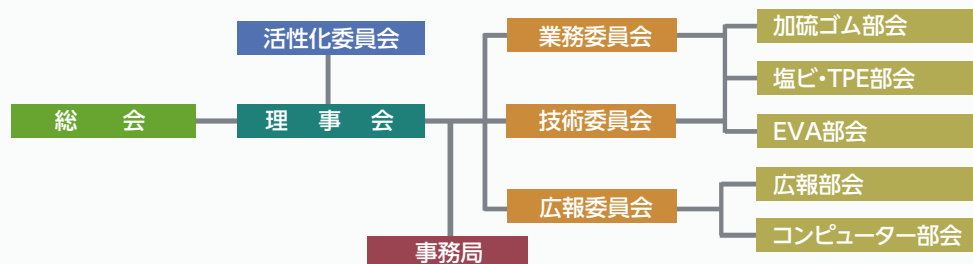
K R K は 1970 年にシート防水材料の JIS 規格制定を契機に設立された「合成高分子ルーフィング懇話会」を母体として 1978 年、現在の工業会組織に改組し、55 年の歴史を歩んでまいりました。JIS 規格の改正、公共建築工事標準仕様書の改定、日本建築学会の研究活動参画など幅広く活動してまいりました。

## 実 績

K R K は製品や工法の革新にむけ、常に意欲的に取り組んで来ました。建築業界を取り巻く激しい環境の変動にも柔軟に対応し、新築工事だけでなく改修需要への対応や新しい仕様の開発、施工技術の平準化等に取り組んでいます。

## KRK の構成

K R K は防水シートの優良メーカーで構成されており、組織は以下の通りです。

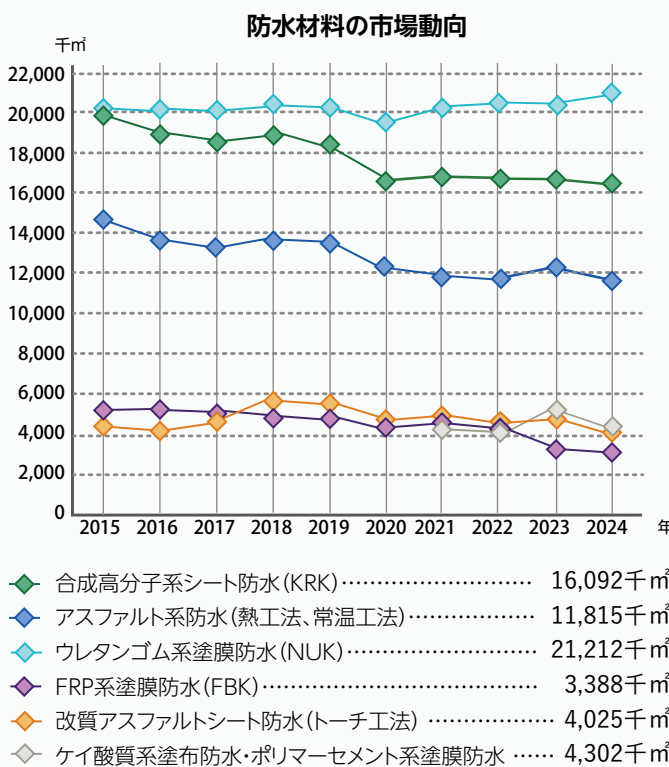


出典：2024 年 JWMA 統計

さらに、近年の猛暑や異常気象により防水材への負荷は増大し、屋上や外装部位は長時間高温にさらされることから、シート防水に求められる耐候性・耐久性の基準も年々高まっております。

こうした状況下にあっても、防水シートの重要性はますます高まっております。耐久性や施工性に優れた防水シートは、建築物の長寿命化を支え、環境負荷の低減や防災性向上にも寄与する、社会的課題解決のために欠かせない材料でございます。

今後も技術革新を通じて性能向上に努めるとともに、人材育成や技能継承にも力を注ぎ、安心・安全で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。引き続きご理解とご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



# KRK の活動

KRKは関係各方面のご支援を賜り、活発な活動を展開しています。

## 官公庁への協力

- 公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書改定、建築工事監理指針及び建築改修工事監理指針改訂への協力

## 日本建築学会における活動

KRKは日本建築学会活動にも積極的に取り組んでいます。

- JASS8改定作業への協力
- 2024年日本建築学会WG活動
  - ・防水材料の長期耐久性評価小委員会
  - ・地下外壁外防水仕様評価小委員会
  - ・既存防水層耐風性評価小委員会
  - ・防水層上に設置される設備基礎の技術検討WG
  - ・防水保護層に関する検討WG
- 2024年度日本建築学会関東大会への参加



## KRKの出版物

KRKはシート防水の品質向上のため、施工マニュアルやパンフレット、技術資料、仕様書、規格書など発刊物を作成しています。

- KRK シート防水マニュアル(2023年改訂)
- 加硫ゴム系シート防水マニュアル(2024年改訂)
- 塩化ビニル樹脂系シート防水マニュアル(2023年改訂)
- エチレン酢酸ビニル樹脂 (EVA) 系シート防水マニュアル (2021年改訂)
- 加硫ゴム系シート防水改修マニュアル(2022年改訂)
- 塩化ビニル樹脂系シート防水改修マニュアル (2020年改訂)
- 塩化ビニル樹脂系・熱可塑性エラストマー系シートによる金属地下防水マニュアル (2024年改訂)
- 塩化ビニル樹脂系シート防水による金属屋根改修マニュアル (2024年改訂)

- 加硫ゴム系シート防水による金属屋根の改修マニュアル (2023年制定)
- KRK木造建築物シート防水マニュアル (2025年制定)
- 高反射率防水シート KRK規格
- KRK合成高分子ルーフィング工業会 50年の記録
- KRK情報誌 (2006ー2024)
- シート防水Q&A
- 加硫ゴム系シート防水 (2024年改訂)
- 塩ビ・TPE シート防水 (2024年改訂)
- エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水 (EVA) (2024年改訂)
- 防水層の維持管理上のご願い (2022年改訂)

- マニュアル ● 規格 ● その他 ● パンフレット



〔賛助会員広告〕

ディスク固定用スクリュー

大きさ・薄さ

長さ

下地対応力

極

JPE 日本パワーファスニング株式会社

東京証券取引所 第2部 コト 5950 TEL03-3639-2600

ソトウ株式会社

スイス、EU 諸国 各メーカー 防水シート用融着機 輸入販売・修理サービス

- ・熱風手動融着機 (BAK 社 リオン S / リオン デジタル型)
- ・熱風自動融着機 (BAK 社 ラロン型、プラノン型)
- ・施工用具、付属部品

TEL 045-322-0720



# シート防水の特長

シート防水の特長を上手く生かすことで、信頼性の高い防水層を実現しています。

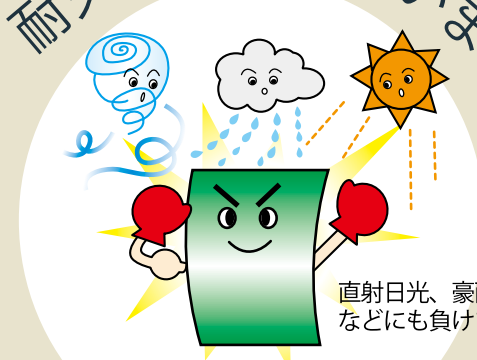
**1 merit** 均質な防水層を形成します

シート状だから厚みが均質！



品質管理された工場において、シート状に製造されているため、物性・寸法(厚さ・幅・長さ)などのばらつきが少なく、均質な防水層を形成します。

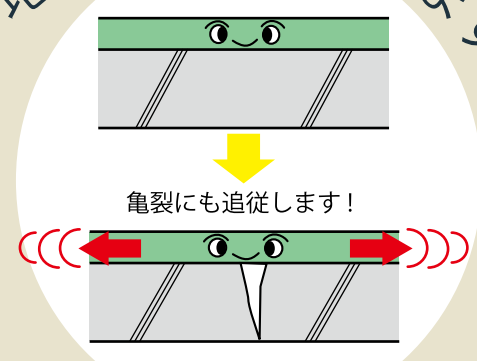
**2 merit** 耐久性に優れています



直射日光、豪雨、強風などにも負けません！！

使用している材料は、耐候性・耐水性・耐熱性等に優れるため、露出でも優れた耐久性を発揮します。

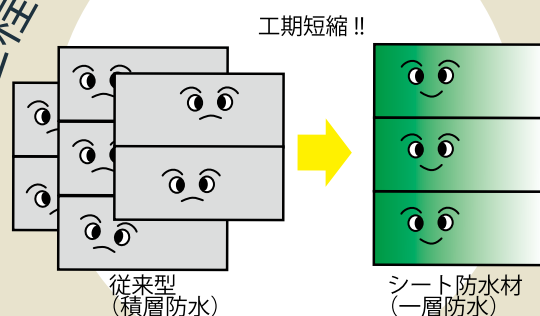
**3 merit** 下地の挙動に追従します



亀裂にも追従します！

伸び率に優れ、下地の挙動に追従します。

**4 merit** 工程が少なく、工期短縮が図れます

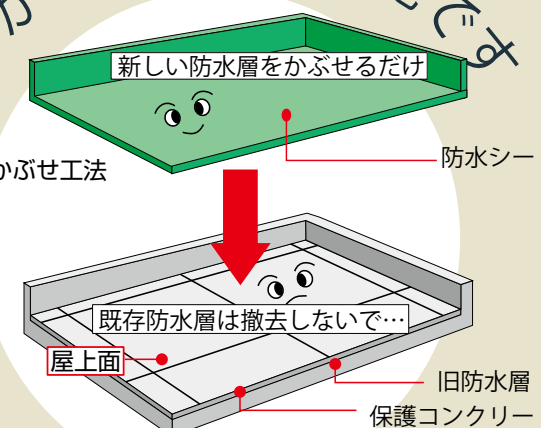


工期短縮！！

従来型 (積層防水)      シート防水材 (一層防水)

シート防水はシングルプライ(一層防水)のため、工程が少なく、工期短縮が図れるほか、工程管理が容易になります。

**5 merit** かぶせ工法が可能です



新しい防水層をかぶせるだけ

かぶせ工法

防水シート

既存防水層は撤去しないで…

屋上面

旧防水層

保護コンクリート

改修工事の際、既存防水層を撤去せず、新規シートをかぶせて施工できます。

**6 merit** 土木工事にも採用されています



処分場、貯水池、用水路などの遮水・防水工事に採用されています。

# シート防水材の紹介

## 加硫ゴム系シート

- 低温、高温の広い温度範囲にわたって安定している。
- 多様な下地に適用し、改修工事にも適している。
- 引張強さ、伸び特性が大きく、下地亀裂追従性、繰返し伸縮などに優れている。

## 塩化ビニル樹脂 (PVC) 系シート

- ルーフィングシート相互は熱融着あるいは溶剤溶着で接合でき、一体化する。
- 耐圧縮性、耐摩耗性に優れているため、軽歩行ができる。
- 防水層は自己消火性を有しており、延焼しにくい。

## エチレン酢酸ビニル樹脂 (EVA) 系シート

- 可塑剤を含有しない、もともと柔軟な素材である。
- 引張強さ、引張強さ、伸び特性が非常に大きく、下地亀裂追従性や繰返し伸縮などに優れている。
- コンクリートやモルタル等と強固に密着する。
- 防水層端末部に押え金物を使用しない。

# シート防水工法の紹介

## 接着工法

- 加硫ゴム系
- 塩化ビニル樹脂系

ルーフィングシートを接着剤を使用して下地に張り付ける工法で、シート防水の初期の頃から採用されているベーシックな仕様です。下地に全面的に接着されているので、耐風性に優れ、作業性もよく大面積を比較的短期間に施工できます。下地の乾燥など下地条件に注意が必要です。



## 機械的固定工法

- 加硫ゴム系
- 塩化ビニル樹脂系

ルーフィングシートを固定金具を用いて下地に固定する工法です。接着剤を使用しないので接着に必要な要素が除外されるため、改修工事や下地条件の厳しい場所などに採用されています。建築基準法に基づき定められた風圧力計算により耐風圧性に配慮した固定金具の設置が必要です。



## 密着工法

- エチレン酢酸ビニル樹脂系

ルーフィングシートをポリマーセメントペースト等を用いて下地に密着させる工法です。ルーフィングシートと下地との間に密にポリマーセメントペーストが介在することで、水の通り道を作りません。下地の乾燥が不要で保護層を薄く仕上げたい室内防水や地下防水、屋上防水に最適です。



[賛助会員広告]

**kaneka** カネカ株式会社

**カネライトフォーム® FX**

JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材

熱伝導率  $0.022 \text{ W/(m}\cdot\text{K)}$

建材トップランナー制度対象製品 (区分名: 押出法ポリスチレンフォーム断熱材)

2030年度目標基準値 熱伝導率  $0.03036 \text{ W/(m}\cdot\text{K)}$

※住宅金融支援機構記載の断熱性能における [記号別の断熱材の種類と規格] による記号

製造 株式会社 カネカ Foam & Residential Techs Solutions Vehicle 販売 カネカケンテック株式会社 カネライトフォーム営業本部 東日本 〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-7 TEL.03(6370)2370

屋上設備基礎 革命!コンクリートから鋼製へ



工期短縮・軽量化工法

**ベルベース**

株式会社 ベルテック

# シート防水層の種類と適用部位

標準工法のシート防水層は、接着工法（7 種類）、密着工法（8 種類）、機械的固定工法（7 種類）の 22 種類です。この 22 種類の標準工法について、適用される部位を材料

種別ごとにまとめたのが、下表です。  
また、標準工法と「JASS 8」及び「標仕」・「改修標仕」・「監理指針」・「改修監理指針」との対応も明確にしています。

適用部位／箇所  標準厚さ (mm)				屋根	ひさし	ベランダ	地下外壁	屋 内			地下駐車場	水槽類	水泳プール	人工池・庭園	JASS 8	「標仕」 「改修標仕」 「監理指針」 「改修監理指針」		
								・浴室 厨房等	駐車場	機械室等								
防水工法／種類																		
接 着 工 法	加硫ゴム (RV-F)	露出	非歩行	1.2	F101 F102	F101 F102	－	－	－	－	－	－	－	－	S-RF	S-F1		
			軽歩行	1.2	F201	－	F201	－	－	－	－	－	－	－				
			露出断熱	1.2	F401 F401S	－	－	－	－	－	－	－	－	－			S-RFT	SI-F1
		保護	保護	1.7	F301	－	F301	－	F301W	F301W	－	F301W	－	－	－	－	－	
	保護断熱		1.7	F501D	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	塩化ビニル樹脂 (RP-F)	露出	非歩行	1.5	F101 F102	F101 F102	－	－	－	－	－	－	－	－	S-PF	S-F2		
			軽歩行	2.0	F201	－	F201	－	－	－	－	－	－	－			－	
			露出断熱	1.5	F401 F401S	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	S-PFT	SI-F2	
		保護	保護	1.5	F301	－	F301	－	F301	F301	F301	F301	－	－	－	－	－	
			保護断熱	1.5	F501D	－	F501D	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
保護			1.5	F301	－	F301	－	F301	F301	F301	F301	－	－	－	－	－		
機 械 的 固 定 工 法	加硫ゴム (RV-M)	露出	非歩行	1.5	M101 M102	M101 M102	－	－	－	－	－	－	－	－	S-RM	S-M1		
			軽歩行	1.5	M201	－	M201	－	－	－	－	－	－	－			－	
			露出断熱	1.5	M401	－	－	－	－	－	－	－	－	－			－	S-RMT
		保護	保護	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	保護断熱		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		
	塩化ビニル樹脂 (RP-M)	露出	非歩行	1.5	M101 M102	M101 M102	－	－	－	－	－	－	M101	M101	－	S-PM	S-M2	
			軽歩行	2.0	M201	－	M201	－	－	－	－	－	－	－	－			－
			露出断熱	1.5	M401	－	－	－	－	－	－	－	－	M401	－	－	S-PMT	SI-M2
		保護																
保護			保護	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
保護断熱	1.5	M501 M501D	－	M501 M501D	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			
密 着 工 法	エチレン酢酸ビニル樹脂 (RE-F)	露出	非歩行	1.0	C101 C102	C101 C102	－	－	－	－	－	－	C101	－	C101	S-PC	－	
			軽歩行	1.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			－
			露出断熱	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			－
		保護	保護	1.0	C301 C301W	C301	C301	C301	C301	C301	C301	C301	C301	C301	C301	参考仕様	S-C1	
			保護断熱	1.0	C501D C501DW	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			－
		地下	後やり	1.0	－	－	－	－	C601	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	先やり		1.0	－	－	－	－	C604	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

【注】水槽類：受水槽・蓄熱槽など、人工池・庭園：建築物に取り入れたもの RV-F201、RV-M201 は軽舗装材を塗布する。  
「JASS 8」：日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説（JASS 8）防水工事、「標仕」：公共建築工事標準仕様書、「改修標仕」：公共建築改修工事標準仕様書、「監理指針」：建築工事監理指針、「改修監理指針」：建築改修工事監理指針  
『KRK シート防水マニュアル』より抜粋

【賛助会員広告】



クラウド機能搭載

「新型自走機ユニルーフ 700 型」

株式会社ライスター・テクノロジーズ

www.leister.com



全母材に対応する、  
万能アンカー

デュオパワー  
DuoPower

母材による  
“3重化”

フィッシャー・ジャパン株式会社

https://www.fischerjapan.co.jp/ja-jp/

Tel:03-3263-4491

KRK 標準工法、「JASS 8」及び「標仕」・「改修標仕」に使用される記号の内容を以下に示します。（「監理指針」・「改修監理 指針」については原則「標仕」に準じます）。

KRK 工法番号 標準工法	
記号	内容
RV	加硫ゴム系シート
RP	塩化ビニル樹脂系シート
RE	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート
F	下地へ全面接着させる工法（接着工法）:Fully Bonded
M	下地へ機械的に固定させる工法（機械的固定工法）:Mechanical Fastened
C	下地へポリマーセメントペーストで全面密着させる工法（密着工法）:Cement Bonded
101	非歩行工法（現場打ち鉄筋コンクリート下地）
102	非歩行工法（板状下地）
201	軽歩行工法
301	保護工法
401	露出断熱工法
403	露出断熱工法（金属下地）
501	保護断熱工法
601	地下後やり工法（現場打ち鉄筋コンクリート下地）
604	地下先やり工法（山留壁）
W	シートの2枚張り工法
D	防水層が下層、断熱材が上層工法
S	断熱材を下地へ部分接着させる工法 :(Spot Bonded)

JASS 8 2022 年版 記号	
記号	内容
S-RF	加硫ゴム系シート防水工法・接着仕様
S-RFT	加硫ゴム系シート防水工法・断熱接着仕様
S-PF	塩化ビニル樹脂系シート防水工法・接着仕様
S-PFT	塩化ビニル樹脂系シート防水工法・断熱接着仕様
S-RM	加硫ゴム系シート防水工法・機械的固定仕様
S-RMT	加硫ゴム系シート防水工法・断熱機械的固定仕様
S-PM	塩化ビニル樹脂系シート防水工法・機械的固定仕様
S-PMT	塩化ビニル樹脂系シート防水工法・断熱機械的固定仕様
S-PC	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水工法・密着仕様

国土交通省「標仕」・「改修標仕」令和 4 年版 記号	
記号	内容
S-F1	加硫ゴム系シート防水全面接着工法
S-F2	塩化ビニル樹脂系シート防水全面接着工法
S-M1	加硫ゴム系シート防水機械的固定工法
S-M2	塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法
S-C1	エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水屋内保護密着工法
SI-F1	加硫ゴム系シート防水全面接着工法（断熱）
SI-F2	塩化ビニル樹脂系シート防水全面接着工法（断熱）
SI-M1	加硫ゴム系シート防水機械的固定工法（断熱）
SI-M2	塩化ビニル樹脂系シート防水機械的固定工法（断熱）

## 公共建築工事標準仕様書（令和7年版）

工法	接 着 工 法				機 械 的 固 定 工 法			
種別	S－F1		S－F2		S－M1		S－M2	
工程	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) <sup>(注)1</sup>	— (プライマー塗り)	— (0.3) <sup>(注)1</sup>	—	—	—	—
2	接着剤塗布	0.4 <sup>(注)2</sup>	接着剤塗布	0.4	—	—	—	—
3	加硫ゴム系 ルーフィング シート(1.2mm) 張付け	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィング <sup>(注)3</sup> シート(1.5mm) 張付け	—	加硫ゴム系 ルーフィング シート(1.5mm) の固定金具 による固定	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィング <sup>(注)3</sup> シート(1.5mm) の固定金具 による固定	—
4	仕上塗料塗り <sup>(注)4</sup>	—	—	—	仕上塗料塗り <sup>(注)4</sup>	—	—	—

(注)  
1. ALC/パネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を( )内とする。  
2. S-F1で粘着層付又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、工程2の接着剤の使用量は製造所の仕様による。  
3. S-F2及びS-M2で**特記**により軽歩行仕様とする場合は、ルーフィングシートの厚みは2.0mmとする。  
4. S-F1及びS-M1の場合、仕上塗料の種類及び使用量は、**特記**による。**特記**がなければ、非歩行仕様とし、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

工法	接 着 工 法				機 械 的 固 定 工 法			
種別	SI－F1		SI－F2		SI－M1		SI－M2	
工程	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
1	プライマー塗り	0.2 (0.3) <sup>(注)1</sup>	— (プライマー塗り)	— (0.3) <sup>(注)1</sup>	—	—	—	—
2	接着剤／断熱材	—	接着剤／断熱材	—	断熱材 <sup>(注)2</sup>	—	断熱材 <sup>(注)2</sup>	—
3	接着剤塗布	0.4 <sup>(注)6</sup>	接着剤塗布	0.4	—	—	可塑性移行防止用 シート敷設 <sup>(注)5</sup>	—
4	加硫ゴム系 ルーフィング シート(1.2mm) 張付け	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィング シート(1.5mm) 張付け	—	加硫ゴム系 ルーフィング シート(1.5mm) の固定金具 による固定	—	塩化ビニル樹脂系 ルーフィング シート(1.5mm) の固定金具 による固定	—
5	仕上塗料塗り <sup>(注)7</sup>	—	—	—	仕上塗料塗り <sup>(注)7</sup>	—	—	—

(注)  
1. ALC/パネル下地の場合は、工程1のプライマーの使用量を( )内とする。  
2. SI-M1及びSI-M2の場合、防湿用フィルムの設置は、**特記**による。  
3. 工程2の断熱材張付けに用いる接着剤の使用量は、ルーフィングシートの製造所の仕様による。  
4. 断熱材は、立上り際でルーフィングシートの製造所の仕様により固定する。  
5. SI-M2で断熱材が硬質ウレタンフォーム断熱材を用いる場合は、工程3を行わない。  
6. SI-F1で粘着層付又は接着剤付加硫ゴム系ルーフィングシートを使用する場合は、工程3の接着剤の使用量は、製造所の仕様による。  
7. 仕上塗料の種類及び使用量は、**特記**による。**特記**がなければ、使用量はルーフィングシートの製造所の仕様による。

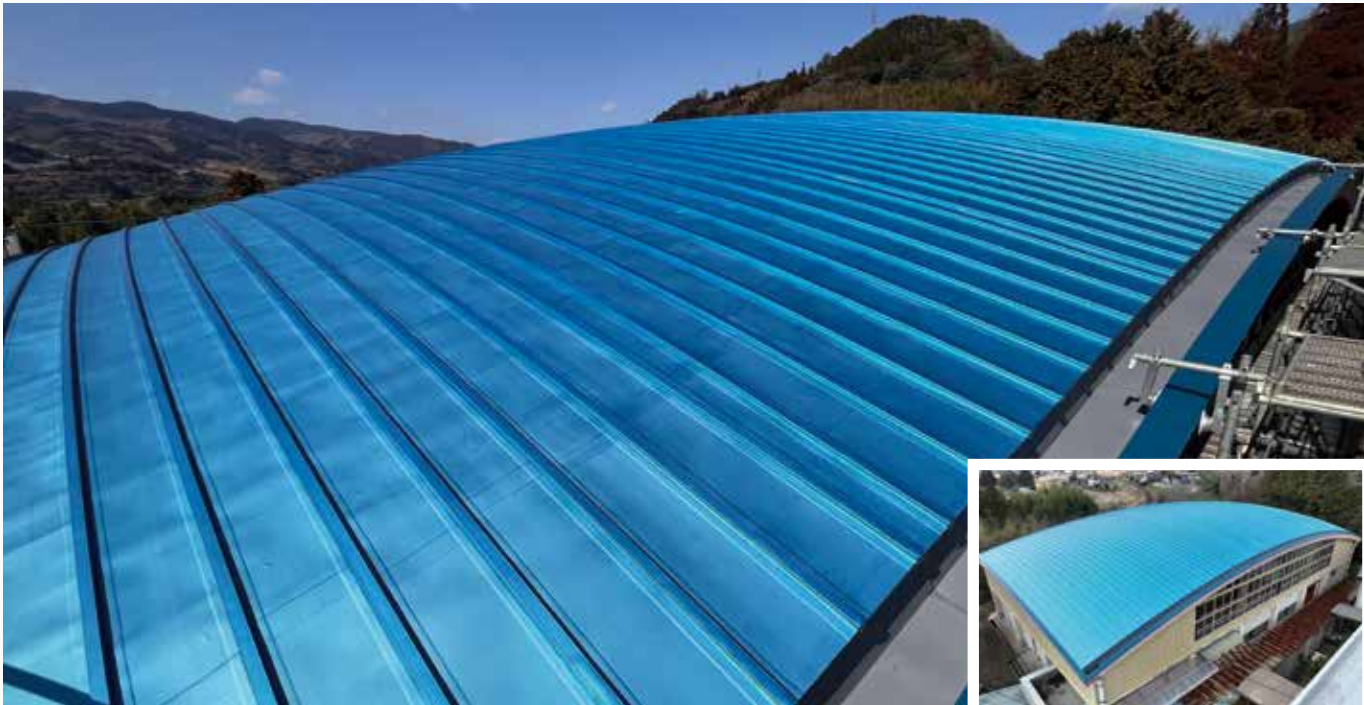
工法	屋 内 保 護 密 着 工 法	
種別	S－C1 <sup>(注)1</sup>	
工程	材料・工法	使用量(kg/m <sup>2</sup> )
1	プライマー塗り	0.3
2	接着剤（ポリマーセメントペースト）塗布	3.0
3	エチレン酢酸ビニル樹脂系ルーフィングシート（1.0mm）張付け	—
4	保護モルタル塗り <sup>(注)2</sup>	—

(注)  
1. S－C1については、屋内防水に適用する。  
2. 工程4の保護モルタル塗厚は、**特記**による。



# シート防水施工事例

大分県由布市西庄内小学校  
加硫ゴム系シート防水・接着工法（金属下地）



（株）ニシイ鹿児島営業所  
加硫ゴム系シート防水・接着工法（コンクリート下地）



[賛助会員広告]

**MSドリル**  
  
MSドリル  
一般的なドリル

塩ビシート防水工事に最適  
穿孔しながら  
粉じんを吸引する、  
これまでに無かった  
細径吸引  
ドリルシャंकです。  
**峰岸株式会社**

**株式会社 山装**  
  
YAMASO

長年のノウハウを生かして、  
独自の高い技術力で防水資材  
製品を製造・販売しております。  
●お問い合わせ先●  
TEL:045-781-7821/FAX:045-781-7824

姫路聴覚特別支援学校  
塩化ビニル樹脂系シート防水・機械的固定断熱工法（金属下地）



豊田市博物館  
塩化ビニル樹脂系シート防水・接着断熱工法（コンクリート下地・木下地）



[賛助会員広告]

**機能性素材  
『クレネット®』**  
✓効率的に強度発現  
✓母材同士が強固に接着  
✓機能性付与も可能  
**KURABO** 環境マテリアル部 機能資材課 TEL: 06-6266-5279

浸水被害に備える  
軽量パネル止水板  
**フラッドセーフライト**  
お問い合わせ タキロンマテックス株式会社 東京支店 03-5781-8150

タキロンシーアイグループ



都市再生機構 長住団地 1 号棟賃貸施設  
加硫ゴム系シート防水・接着断熱工法（コンクリート下地）



VIVOVIVA 石垣島（2 階プール）  
エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水・保護密着工法（コンクリート下地）



● 表紙写真：豊田市博物館



設計・監理：株式会社坂茂建築設計  
施 工：清水・トヨタ T & S・三栄建設共同企業体  
延床面積：7,891㎡  
所 在 地：愛知県豊田市  
構 造：RC造・S造・木造  
防水仕様：塩化ビニル樹脂系シート防水・接着断熱工法

# 各種マニュアル最新版のお知らせ

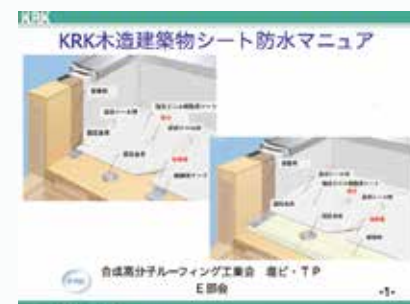
当工業会では各種マニュアルを発刊しています。内容は HP でご覧いただけます。また、「KRK シート防水マニュアル」をご希望の方は、工業会までお問合せください。

## KRK シート防水マニュアル

合成高分子ルーフィング工業会編  
全 190 ページ／2023.5 改訂

シート防水を広く深く理解していただくことを目的として 1980 年 11 月に発刊以来、改訂は 8 回目となります。

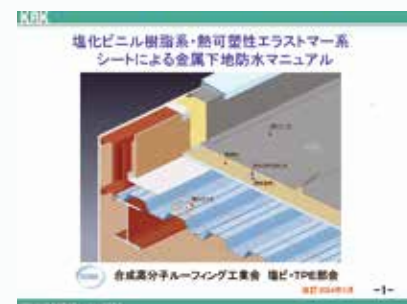
主な改訂内容は、令和 4 年版「公共建築工事標準仕様書」（国土交通省）や 2022 年改定の「JASS 8 防水工事」（日本建築学会）等の改定内容の反映、また、2021 年に施行された建築物省エネ法改正の内容、合成高分子系ルーフィングシート（JIS A 6008）や建築用断熱材（JIS A 9521）などの JIS 改正、その他の最新の情報の追記・修正等を実施しました。



## 木造建築物シート防水マニュアル

塩ビ・TPE 部会編  
全 66 ページ／2025.10 制定

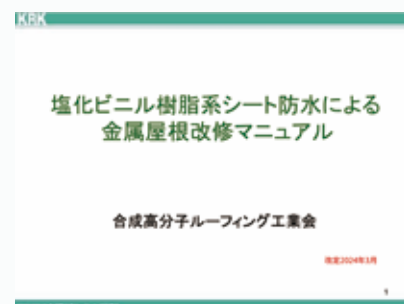
新築の木造建築物の上に施工する塩化ビニル樹脂系シート防水工法の仕様の標準化を図り、確実な施工を行う目的で、新たに制定しています。



## 塩化ビニル樹脂系・熱可塑性エラストマー系シートによる金属下地防水マニュアル

塩ビ・TPE 部会編  
全 96 ページ／2024.3 改訂

塩化ビニル樹脂系シート防水仕様の標準化を図り確実な施工を行う目的で 2008 年に作成された内容に、関連する法律や JIS の改正に伴った内容に見直しをしています。



## 塩化ビニル樹脂系シート防水による金属屋根改修マニュアル

合成高分子ルーフィング工業会編  
全 17 ページ／2024.3 改訂

加硫ゴム系シートによる金属屋根の改修マニュアルが新しく作成されることとなり、旧タイトル「シート防水による金属屋根の改修」から加硫ゴム系シートの仕様を削除し、名称も同タイトルへ改称しました。



## 加硫ゴム系シート防水

加硫ゴム部会編  
全 8 ページ／2024.3 改訂  
2023 年改訂の KRK シート防水マニュアル、令和 4 年版公共建築（改修）工事標準仕様書並びに令和 5 年版保全工事共通仕様書（UR 都市機構）の各種仕様書類の内容を反映した見直しを行っています。



## 塩ビ・TPE シート防水

塩ビ・TPE 部会編  
全 12 ページ／2024.11 改訂  
2023 年改訂 KRK 標準仕様図の最新版への更新、トピックスとして「木造建築におけるシート防水について」「防水工事改修におけるアスベスト対応」を掲載しています。



## エチレン酢酸ビニル樹脂系シート防水 (EVA)

EVA 部会編  
全 6 ページ／2024.3 改訂

EVA 系シート防水の概要を紹介しています。2023 年改訂の『KRK シート防水マニュアル』の内容を反映した見直しを行いました。

[賛助会員広告]

限界を超越した断熱性能!!

高性能・新次世代型断熱材

**ミラフォーム** ミラフォーム

押出法ポリスチレンフォーム断熱材 [JIS A 9521・XPS3aD]

熱伝導率 **0.022 W/m・K (23℃)**

株式会社 JSP 建築土木資材事業部 TEL.03-6212-6362

建材トップランナー制度対象製品  
2022年度目標値0.02322W/(m・K)